

「中近東の織物」

中近東文化センター
付属博物館
大沢3-10-31
☎32-7111
☎31-9453

「中近東の織物」～コプト織とペルシア錦・絨毯～展



「コプト」とは、3世紀末以降のキリスト教徒化したエジプトの人々を表す言葉で、彼らが生み出したつづれ織りを主とする織物を「コプト織」と称します。また金糸や銀糸を織り込んだイランのサファヴィー朝時代の「ペルシア錦」は、繊細なデザインと豊かな色彩とで見る者を魅了します。

中近東文化センター所蔵の「コプト織裂」約40点と17～19世紀の「ペルシア錦」約20点を中心に、製作された時代の歴史や織りの構造、用途などと併せてご紹介します。

金糸織多彩ポッチ葉文錦 イラン 17世紀末

▷7月2日(日)まで(月・木曜日を除く)の午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)
入館料 一般800円、高校生・大学生500円、65歳以上400円、中学生以下無料。団体割引あり。三鷹市・武蔵野市民は100円(住所確認できるものをお持ちください)。

展示解説 毎月第1・3日曜日午後1時から。
⇒直接会場へ。
講演会
コプトの人々と文化について(早稲田大学エジプト学研究所客員助教授 長谷川泰さん)=3月25日、中近東の織物(国史館大学イラク古代文化研究所共同研究員 坂本和子さん)=4月15日、イスラムの錦(神奈川大学専任講師 阿部克彦さん)=5月13日、イランの風土と絨毯(ミューリ-コレクション日本代表 アリ・ソレマニエさん)=6月10日、イラン人と布～その歴史と伝統(元東京大学東洋文化研究所文部技官 千代延恵正さん)=6月24日、いずれも土曜日午後1時30分～3時、聴講料500円。
⇒事前に電話またはファクスで申し込む。

関連イベント
手紡ぎ羊毛糸の藍染め体験=5月中の日曜日午後2時～5時。各先着6人。参加費1,500円。
⇒事前に電話またはファクスで申し込む。
ピアノとサクソによるイラン音楽へのアプローチ=6月17日(土)午後1時～2時。参加費無料。
⇒当日、直接会場へ。
市民展示
三鷹市、武蔵野市で活動している織物や染織の教室・グループのみなさんの作品を展示。

中近東文化センター付属 三笠宮記念図書館 連続講演会 「次世代に語り継ぐもの」

～ナポレオン、アブシンベル、死海文書～

「諸君! 4,000年の歴史が見つめている」～ナポレオンのエジプト遠征がエジプト研究学の基盤となった(同センター理事長 羊田口義郎さん)=4月16日、「アブシンベル神殿は残った」～世界遺産とエジプトのアスワンハイダムとの関係(同センター理事 鈴木八司さん)=4月23日、「死海文書は羊飼いにによって発見された」～死海文書が聖書研究に与えた影響(同センター常務理事 池田裕さん)=4月30日、いずれも日曜日。
▷午後1時30分～2時30分、同センター大講堂で。参加料1,500円。
▶事前に同センターに電話またはファクスで申し込む。定員200人。

「三鷹市教育ビジョン」の策定に向けての提言」

(最終まとめ)が出されました

「三鷹市教育ビジョン」策定助言者会議から2月20日、「三鷹市教育ビジョン」の策定に向けての提言(最終まとめ)が提出されました。

この提言では、「これからの子どもたちは「人間力」「人としてよりよく生きていく力」と「社会力」=「人が人とながり社会をつくる力」の両方を備えることが重要であるとし、「これをばくくむ教育のために4つの視座を設定し、それに沿って具体的な提言が示されています。」

市教育委員会ではこの提言を受けて、平成18年度中に「三鷹市教育ビジョン」(仮称)を策定します。

「三鷹市教育ビジョン」の策定に向けての提言」4つの視座

決められる体制を確立する。校長の学校経営ビジョンに基づき特色ある学校づくり「学校運営協議会」を通じて地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」制度の導入
意欲のある、三鷹にふさわしい教員の配置
教員のキャリア支援と研修プログラムの充実
地域と共に創る学校、よい学校を創るという共同プロジェクトを推進することで、地域コミュニティのソーシャルキャピタル(=地域力)を高める

地域の参加による学校の共創
NPO・企業・大学・研究機関などの連携
地域社会の拠点としての学校づくりの推進

情報共有のためのモニターリング(計画・実施・点検・改善)システム、学校経営を効果的に実施し、学校について

の情報を促進するためのモニターングシステムを構築し活用することで、すべての学校で質の高い教育サービスが行われることを支援する

教育活動の計画(Plan)
教育成果の点検(Check)
課題の改善や調整(Act, Adjust)

「三鷹市教育ビジョン」策定助言者
金子郁容(慶應義塾大学大学院教授)
小松郁夫(国立教育政策研究所教育政策・評価研究部長)
小島宏(財団法人教育調査研究所研究部長)
玉村雅敏(慶應義塾大学助教授)

提言の内容は市のホームページに掲載するほか、指導室(教育センター1階)でも閲覧できます。
⇒指導室 ☎内線3246

「三鷹市立小・中学校給食のあり方検討委員会」が検討報告書を提出

「三鷹市立小・中学校給食のあり方検討委員会」(委員長、教員、学校栄養職員、PTAの各代表ほか13人で構成)から2月20日、検討報告書が提出されました。

市教育委員会では、この報告書を受けて、保護者や市民のみならず幅広くご意見を聞きながら平成18年度前半に実施方針を定めます。

↓学務課 ☎内線3238

【報告書の概要】
学校給食の質の充実
三鷹市の特長である学校内の調理室で調理する「自校方式」の堅持を前提に、「食育の推進」「給食内容の充実」「安全・衛生管理の徹底」により質の充実を図る。
食育の推進 学校栄養職員を中心とした指導体制の充実を図るとともに、市内産野菜

の活用や学校での研究活動を行い、家庭・地域とも連携して取り組む。
給食内容の充実 献立の充実や新鮮でおいしい市内産野菜活用の拡大、食物アレルギーへのよりきめ細かい対応などを図る。
安全・衛生管理の徹底 食中毒防止や安全な食材の調達を目指すなど徹底を図る。
学校給食の効率化
厳しい財政状況のなかで質の充実を図るためには、これまで以上に運営の効率化が必要であり、調理業務の民間委託を進める必要がある。
ただし、学校給食の実施責任者は教育委員会および学校であり、安全でおいしく栄養バランスのとれた豊かな給食の提供のため、献立作成や材料の発注、でき上がった給食の検査などは学校栄養職員、校長が責任を持って行い、民間委託する業務の範囲は、調理、洗浄作業などに限定するべきである。
民間委託の実施は、当初は複数のモデル校で実施し、その実績を検証・評価しながら改善を図り、段階的に拡大する方法が望ましい。
報告書の内容は市のホームページに掲載するほか、学務課(教育センター1階)でも閲覧できます。

三鷹ネットワーク大学
春学期講座受講生募集中!

最終回のみ受講はご遠慮ください。
国立天文台企画サロン「アストロノミー・パフ」
4月15日(土)午後7時～8時30分 テーマは「皆既日食と太陽研究最前線」。出演は国立天文台副台長・前太陽観測所長の桜井隆さん、立教大学・矢治健太郎さん。受講料3千円(飲食代を含む)。
は申込書に必要事項を記入し、三鷹ネットワーク大学へ直接または郵送で申し込む。募集要項は同大学、市役

国際基督教大学企画講座
「平和・安全・共生を考える」
昨年秋季学期に開講した講座の第二弾。今回は外国人講師を中心に、さまざまな角度から世界規模での「平和・安全・共生」について考えます。
外国人講師には同時通訳がつきます。
4月20日(6月8日の毎週木曜日)全7回(午後7時～8時30分) 講師・テーマは別表のとおり。受講料各回1千円。ただし在勤を含む市民の方は各回700円、市民で学生の方は各回600円。
5月18日(6月8日の毎週木曜日)全4回(午後7時～8時30分) 講師・テーマは別表のとおり。受講料1万円。市民の方は入会金(3千円)が無料になります。
は明治大学リパティ・アカデミー ☎03-3296-4223へ直接申し込む。先着20人。

国際基督教大学企画講座
「社会人のための会計の新潮流・入門」
5月18日 明治大学経営学部教授 鈴木研一さん 固定顧客リピーターからの収益マネジメント～売り上げに貢献するリピーターを育てる
5月25日 公認会計士 吉田春樹さん インターナル・コントロール～内部統制をめぐる冒険
6月1日 明治大学経営学部教授 大倉学さん(コーディネータ) 新会計基準と国際的コンパジェンス
6月8日 税理士 上野正人さん 税理士の現場から

日程	講師	タイトル
4月20日	高橋一生さん	不安定化する地球社会～紛争と平和構築
4月27日	加藤恵津子さん	海外移民志望の日本の若者ば「安全」か
5月11日	J.ワシレウスキーさん	東北アジア対話プロジェクト
5月18日	M.グリーンフィールドさん	放射性雨の問題
5月25日	P.ウェストさん	アジア太平洋戦争をどう物語るか
6月1日	J.トレフソンさん	言語と政治的紛争
6月8日	総合討論・受講生との交流会	

日程	講師	タイトル
5月18日	明治大学経営学部教授 鈴木研一さん	固定顧客リピーターからの収益マネジメント～売り上げに貢献するリピーターを育てる
5月25日	公認会計士 吉田春樹さん	インターナル・コントロール～内部統制をめぐる冒険
6月1日	明治大学経営学部教授 大倉学さん(コーディネータ)	新会計基準と国際的コンパジェンス
6月8日	税理士 上野正人さん	税理士の現場から